

各位

鉄道事業の旅客運賃改定申請について

遠州鉄道株式会社（本社：浜松市中区 社長：齊藤薫）は、本日9月29日付にて国土交通省中部運輸局宛に2022年2月1日から実施予定の鉄道事業の旅客運賃上限変更認可申請を提出いたしました。

申請理由および申請概要は下記の通りです。

記

1. 申請の理由

当社の鉄道事業は、1967年度のピーク時以降、輸送人員は一時7割まで減少しましたが、2度にわたる鉄道高架化や輸送の安全対策の継続、業務組織の効率化や旅客サービスの改善により、1983年2月の運賃改定以降、バブル崩壊やリーマンショックを乗り越え、消費税率の改定に伴う運賃改定を除き30年以上にわたり運賃水準を変更せず事業を継続してまいりました。

これまで、輸送の安全確保のため定期的な車両更新やCTC（列車集中制御装置）・ATS（自動列車停止装置）の更新、重軌条化・ロングレール化等、老朽化した施設・設備の修繕に取り組んでまいりました。

また、旅客サービスにおいては、1990年に単線ながら新浜松駅・西鹿島駅間の所要時分を32分に短縮し、2004年に国内初となる鉄道・バス共通の本格的なICカード「ナイスパス」を導入したほか、鉄道駅のバリアフリー化とともに駐輪場や駐車場の整備を推進し、また混雑する時間帯の4両編成の増便を行う等、お客様の利便性向上に取り組んでまいりました。

経営の合理化では、運転士・車掌・駅員の業務複合化や鉄道駅の無人化により要員体制を見直してまいりました。

しかしながら、今後も輸送の安全確保や旅客サービスの向上を推進していくためには、2度の高架事業受け入れに伴う償却費や維持管理費の負担に加え、2011年から継続中の耐震補強工事のほか、本年度着工した八幡駅をはじめとする駅のバリアフリー改修や、定期的な車両更新等、これまで以上に多額の投資案件を実行していく必要があります。

また昨今では、新型コロナウイルス感染症によりテレワークやリモート会議が定着することで、利用人員が急速に減少しております。加えて今後更に進行する人口減少により、一層不透明な状況に置かれております。

鉄道輸送の安全確保とさらなる利便性の向上、また鉄道事業の経営健全化を図るため、1983年以来39年ぶり（消費税率変更に伴う改定を除く）となる旅客運賃改定の申請に及んだ次第でございます。

2. 上限運賃の申請内容

(1) 運賃の認可制度について

鉄道事業の旅客運賃は各事業者の「上限運賃」を国土交通省が認可する「上限認可制」となります。各事業者は認可された上限運賃の範囲内で届出により「実施運賃」（お客様から実際に収受する運賃）を設定することができます。当社の現在の「実施運賃」は「上限運賃」と同額であり、認可後につきましても同額の設定で届出をする予定です。国土交通省の認可が下りた時点で改めてお知らせいたします。

(2) 申請の概要

① 申請日 2021年9月29日

② 実施予定日 2022年2月1日

③ 改定内容

i. 【改定率】

定期外	定期			合計
	通勤	通学	計	
4.6%	3.3%	1.6%	2.7%	3.9%

ii. 【現行・申請運賃比較表】

○普通旅客運賃（定期外）

・初乗運賃 120円を 140円に改定

・現行 160円～240円（4.1km～8.0km）区間を一律 10円加算

※現行 280円（8.1km～）以上の区間は運賃改定の対象としない

営業キロ	現行運賃（円）	申請上限運賃（円）	運賃差（円）
0～4.0	120	140	20
4.1～5.0	160	170	10
5.1～6.0	190	200	10
6.1～7.0	220	230	10
7.1～8.0	240	250	10
8.1～9.0	280	280	—
9.1～10.0	300	300	—
10.1～11.0	320	320	—
11.1～12.0	350	350	—
12.1～13.0	370	370	—
13.1～14.0	390	390	—
14.1～15.0	420	420	—
15.1～16.0	440	440	—
16.1～17.0	460	460	—
17.1～18.0	480	480	—

○定期旅客運賃

※8.1km以上の区間は運賃改定の対象としない

通勤定期旅客運賃（大人1か月）

営業キロ	現行運賃（円）	申請上限運賃（円）	運賃差（円）
0～3.0	4,880	5,760	880
3.1～4.0	5,330	6,210	880
4.1～5.0	6,650	7,100	450
5.1～6.0	7,540	7,990	450
6.1～7.0	8,870	9,320	450
7.1～8.0	10,210	10,650	440
8.1～9.0	11,090	11,090	—
9.1～10.0	12,420	12,420	—
10.1～11.0	13,300	13,300	—
11.1～12.0	14,190	14,190	—
12.1～13.0	15,070	15,070	—
13.1～14.0	16,410	16,410	—
14.1～15.0	17,290	17,290	—
15.1～16.0	18,180	18,180	—
16.1～17.0	19,070	19,070	—
17.1～18.0	20,390	20,390	—

通学定期旅客運賃（大人1か月）

営業キロ	現行運賃（円）	申請上限運賃（円）	運賃差（円）
0～3.0	3,290	3,880	590
3.1～4.0	3,600	4,190	590
4.1～5.0	4,480	4,780	300
5.1～6.0	5,080	5,380	300
6.1～7.0	5,970	6,280	310
7.1～8.0	6,880	7,180	300
8.1～9.0	7,470	7,470	—
9.1～10.0	8,360	8,360	—
10.1～11.0	8,960	8,960	—
11.1～12.0	9,550	9,550	—
12.1～13.0	10,160	10,160	—
13.1～14.0	11,050	11,050	—

14.1～15.0	11,650	11,650	—
15.1～16.0	12,250	12,250	—
16.1～17.0	12,840	12,840	—
17.1～18.0	13,740	13,740	—

※通学ウィークデー定期券は通学定期旅客運賃に5/7を乗じて得られた額とする。
(10円単位に切り上げ)

3. 鉄道部門収支の実績および推定 (単位：千円)

	2020年度 (実績)	2022～2024年度 (3年間平均)	
		現行	改定後
収入	1,227,362	1,544,611	1,601,251
支出	1,462,337	1,632,185	1,631,942
差引損益	▲234,976	▲87,573	▲30,691
収支率	83.9%	94.6%	98.1%

※収入には特別利益が含まれておりません。また、支出には特別損失が含まれておりません。

4. 運賃収入内訳 (単位：千円)

	2020年度 (実績)	2022～2024年度 (3年間平均)	
		現行	改定後
定期外	631,450	929,513	972,158
定期	469,610	521,384	535,378
合計	1,101,060	1,450,897	1,507,537

5. 需要見通し (単位：千人)

	2020年度 (実績)	2021年度 (推定)	2022年度 (推定)	2023年度 (推定)	2024年度 (推定)
定期外	3,538	4,420	5,147	5,217	5,260
定期	3,759	3,995	4,084	4,173	4,262
合計	7,297	8,416	9,231	9,391	9,523
前年比	71.0%	115.3%	109.6%	101.7%	101.4%

6. 設備投資実績・計画

(1) 設備投資実績と計画

(単位：百万円)

	2018年度 (実績)	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (推定)	2022年度 (推定)	2023年度 (推定)	2024年度 (推定)
安全対策	361	353	311	175	248	574	347
サービス改善等	112	132	53	104	125	155	197
合計	474	485	364	279	374	729	544

(2) 主要プロジェクトの内容

① 第Ⅰ期高架橋耐震補強工事（継続事業）

当社の鉄道線はおよそ 3 分の 1 の区間が高架化されておりますが、1985 年の供用開始から 30 年を超える第Ⅰ期高架区間では、大規模な地震が発生した際の安全確保のため 2011 年から継続して耐震補強工事を進めており、現在までに 16 億円を投じて半数を超える橋脚が耐震化されております。今後も引き続き、耐震補強工事を計画的に進めてまいります。

② 駅のバリアフリー化

お客様が快適にご利用いただけるよう、高架駅へのエレベーター設置による段差解消のほか、多機能トイレやホーム転落防止柵の設置など、駅のバリアフリー化を推進いたします。今年度より八幡駅（第Ⅰ期高架駅）のバリアフリー化工事を進めております。

③ 車両更新

老朽化した車両の置き換えと省エネルギー化のため、定期的に車両を更新しております。車両更新により、信頼性を高め、輸送の安全性向上を図るとともに修繕費を抑制し、消費電力を抑えることができます。また定期的な車両更新は、投資額の平準化となり経営の安定化につながります。

7. これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

これまで、運転士・車掌・駅員の業務複合化や鉄道駅の無人化のほか、駅窓口営業時間の変更などによる要員見直し、またパート従業員の採用や再雇用者を活用するなど経営の合理化に取り組んでまいりました。今後についても収支の改善を図りつつ、高架橋の耐震補強工事やバリアフリー化など安全対策の推進とサービスの向上に努めてまいります。

8. 運賃・料金の多様化の内容

① あかでん 1 日フリーきっぷ（デジタルチケット対応）

遠州鉄道の鉄道線全線を利用できるお得な 1 日フリーきっぷを販売しております。またキャッシュレス決済でデジタルチケット (EMot) を購入して、画面表示で乗降できるサービスを開始しております。

② 天竜浜名湖鉄道・遠州鉄道共通 1 日フリーきっぷ（デジタルチケット対応）

【東ルート】…遠鉄電車（新浜松駅～西鹿島駅）天浜線（西鹿島駅～掛川駅）

【西ルート】…遠鉄電車（新浜松駅～西鹿島駅）天浜線（新所原駅～天竜二俣駅）

天竜浜名湖鉄道への乗り継ぎに便利でお得な 1 日フリーきっぷを販売しております。現在、期間・枚数限定で「エヴァンゲリオンデザイン版」を発売し、大変好評をいただいております。

③ 通学ウィークデー定期券・学期定期券

通学者の利用促進のため、通常の通学定期券のほかに、利用日を月曜日～金曜日（祝日・振替休日を含む）に限定した「通学ウィークデー定期券」と、有効期間を終業日までの各学期間とする無駄のない「学期定期券」を販売しております。

④ シルバーワイド定期券

65歳以上のお客様、または免許を返納された60歳以上のお客様を対象に、遠州鉄道の電車と路線バスが、1か月6,100円で乗り放題となる「シルバーワイド定期券」を販売しております。

9. 利用者サービスの向上策

① 駅施設のバリアフリー化の推進

高架駅でエレベーターが設置されていない駅から優先的にバリアフリー化を推進してまいります。また安全対策としてホーム転落防止柵を設置し、お客様に安心してご利用いただける駅を目指し旅客サービスの向上を図ります。

② 車両・設備更新による輸送の安全確保

老朽化した車両や遮断機・連動装置等の設備更新を進めるとともに、軌道のロングレール化や踏切道の重軌条化を推進し、列車走行の安全性向上・騒音や振動の軽減を図ります。また多言語対応の車内案内表示器を導入するなど、旅客サービスの向上に努めてまいります。

10. お問い合わせ先

(1) 本件に関する報道関係の皆様・お客様からのお問い合わせ

遠州鉄道株式会社 鉄道営業所 TEL053-435-0221
(平日・土曜日 9:00～18:00・日祝 9:00～17:00)

遠州鉄道株式会社 運輸事業部 TEL053-454-2215
(平日 9:00～18:00)

(2) 遠鉄電車ホームページ

<https://www.entetsu.co.jp/tetsudou/>